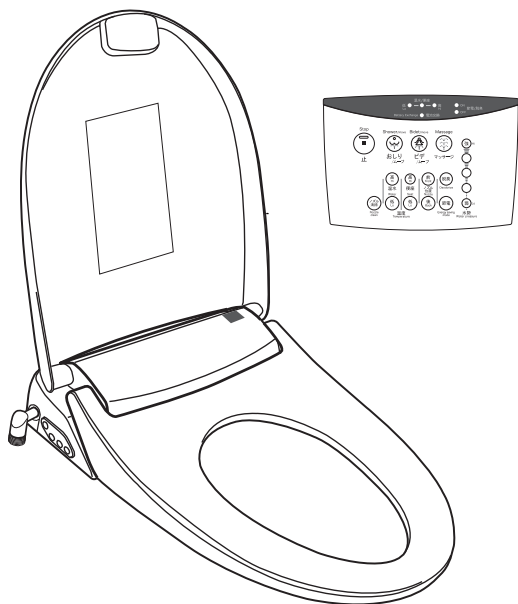


## JCS-851DRN 取扱説明書 (保証書付)

お買上げまことにありがとうございます。

- この「取扱説明書」(保証書付)をよくお読みのうえ正しくお使いください。  
お読みになった後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。
- この商品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。

This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.



家庭用

### もくじ

安全上のご注意 ..... 1~3

必ず守る

取り付け前の確認 ..... 4  
 取り付け手順 ..... 5~9  
 取り付け後の確認 ..... 10

設置方法

各部のなまえとはたらき ..... 11~12  
 ご使用になる前に ..... 13  
 使いかた ..... 14~18  
   温水・便座温度を設定する ..... 14  
   おしり洗浄・ビデ洗浄をする ..... 15  
   知っておいていただきたいこと ..... 16~17  
   節電(8時間切タイマー)を使うとき ..... 18  
   上手に節電 ..... 18  
 凍結防止について ..... 19~20  
   凍結のおそれがある場合 ..... 19  
   水抜きの方法 ..... 19  
   水抜き後の再通水の方法 ..... 20

使用方法



お手入れ ..... 21~24  
   便ふた ..... 21  
   便座本体 ..... 22  
   リモコンの電池交換 ..... 22  
   ストレーナ ..... 23  
   ノズル(おしり・ビデ用) ..... 24  
   脱臭フィルター ..... 24  
   便座本体内部の水抜き ..... 24  
 点検のお願い ..... 25  
   日常点検 ..... 25  
   定期点検のおすすめ ..... 25  
 重大事故防止のためのお願い ..... 25  
 故障かな?と思ったら ..... 26  
 異常報知について ..... 27  
 連立トイレへの取り付けについて ..... 27  
 仕様 ..... 28  
 アフターサービスについて ..... 29  
 製品の長期使用に関する  
 本体表示について ..... 30  
 保証書 ..... 裏表紙

その他



# 安全上のご注意 (必ずお守りください)

この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
ここに示した注意事項は安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

● 表示と意味

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

● 絵表示の例と意味

	この図表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この図表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告

湿気の多い場所に設置しない  
火災・感電・漏電の原因になります。



水場での  
使用禁止



アース(D種接地)工事がされていることを  
確認する



アース線  
接続

アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。



故障したままで使いつづけない



禁 止

- 次のようなときは、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて給水を止めてください。
- 故障とは…
  - 配管や製品から水漏れしている
  - 製品にひびや割れが入っている
  - 異音、異臭がしている
  - 製品から煙がでている
  - 製品が異常に熱い
- 故障したまま使いつづけると、火災や感電、室内浸水の原因になります。すぐに使用を中止し、販売店に連絡してください。

低温やけどに注意する



必ず行う

- 長い時間便座に座るときは、便座の温度調節を「切」にしてください。
- 次のような方が暖房便座をご使用になるときは、周囲の方が便座の温度調節を「切」にしてください。
  - お子様、お年寄りなど自分で適切な温度調節ができない方
  - 病気の方、身体の不自由な方など思うとおりに動けない方
  - 眠気を誘う薬(睡眠薬、かぜ薬など)を服用された方、深酒された方、疲労の激しい方など眠り込む恐れのある方

# 警告

電源プラグの刃などに付いたほこりは定期的に取り除き、根元まで確実に差し込む



必ず行う

- ・火災や感電の原因になります。電源プラグを抜き、かわいた布でふいてください。

電源は交流100V定格15A以上のコンセントを単独で使う



必ず行う

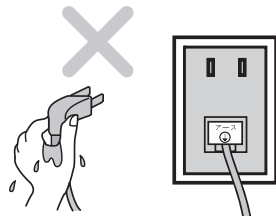
- ・火災や感電の原因になります。延長コードの使用やタコ足配線はしないでください。

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない



ぬれ手  
禁止

- ・感電の原因になります。

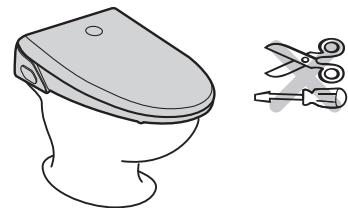


絶対に分解したり、修理・改造は行わない

- ・火災や感電の原因になります。



分解禁止



本体や電源プラグに水やお湯、洗剤をかけない



水ぬれ  
禁止

- ・火災や感電の原因になります。



お手入れの時には、必ず電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く

- ・感電の原因になります。  
※「ノズル清掃」機能使用時は除く

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない



禁止

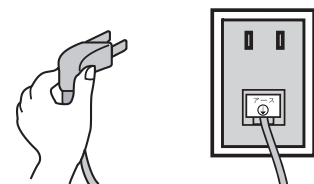
- ・引っ張らない、ねじらない、無理に加熱しない、重いものを載せない、束ねない、挟み込まない
- ・傷んだまま使用すると、火災、感電、ショートの原因になります

電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く



必ず行う

- ・コードを引っ張ると電源プラグが傷んで、火災や感電の原因になります。



# ⚠ 注意

## たばこなどの火気類を近づけない



火気禁止

- ・火災の原因になります。



## 凍結による破損の予防を行う。



必ず行う

- ・凍結すると給水配管や本体内部が破損して、水漏れする原因になります。
- ・暖房するなどしてトイレを暖めてください。

## 便座本体に乗らない



禁止

- ・また、便座ふたによりかからない。
- ・割れてけがをする原因になります。



## 長時間使用しないときは、電源プラグを抜く



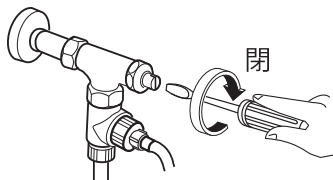
必ず行う

- ・安全のために電源プラグを抜いておいてください。
- ・また、水が腐敗して皮膚の炎症などを起こす恐れがありますので便座本体内部の水抜きを行ってください。(19ページ参照)

## 水漏れが発生したときは、止水栓を閉めて給水を止める



必ず行う



## 電源コードの交換



必ず行う

- ・事故の発生を避けるため、電源コードが損傷を受けた場合の交換は、メーカー、サービス代行業者又は同等レベルの資格を備えているものを行わなければなりません。

## 給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない

- ・水漏れの原因になります。



禁止

## 直射日光に当てない



禁止

- ・樹脂部品が変色・劣化する原因になります。

## お手入れをするときは、うすめた台所用中性洗剤を使用し、次のものは使わない



禁止

- ・トイレ用洗剤、住宅用洗剤、ベンジン、シンナー、クレンザーおよびナイロンたわしなど
- ・プラスチックを傷め、割れてけがをする原因になります。
- ・給水ホースを傷め、水漏れの原因になります。



幼児、お年寄り、ご病気の方が使用される時は注意してあげてください。

# 取り付け前の確認

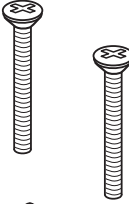
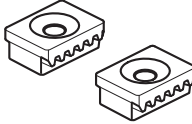
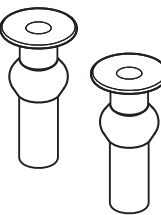
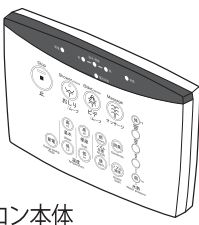





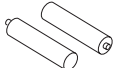
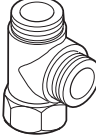

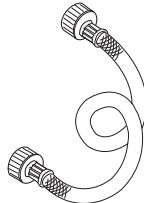

## 給水について

・使用水は必ず水道水を使ってください。

使用可能な水圧範囲は 0.069~0.735MPa(0.7~7.5kgf/cm<sup>2</sup>)です。  
0.069(0.7kgf/cm<sup>2</sup>)以下の水圧では、使用できない場合があります。

## ■ 付属品・用意する工具

### 付属品

 <p>固定ボルト 2本</p>	 <p>固定板 2個</p>	 <p>ゴムブッシュ 2本</p>	 <p>リモコン本体</p>	 <p>アンカー 3本</p>	 <p>ネジ 3本</p>	 <p>クッション 1個</p> <p>ロータンクと便ふたとの干渉が発生する場合、ロータンク側の干渉箇所へ貼付ください。</p>
 <p>(取り付け用) 両面テープ</p>	 <p>リモコンホルダー</p>	 <p>単3形乾電池 2本</p>	 <p>分岐金具1個</p>	 <p>ゴムパッキン1個</p>	 <p>連結ホース(1m)1本</p>	 <p>取扱説明書(保証書付)</p> <p>取扱説明書 (保証書付)</p>

### 用意する工具

 <p>モンキースパナ</p>	 <p>⊖ドライバー</p>	 <p>⊕ドライバー</p>
--	---	---

# 取り付け手順(設置工事)

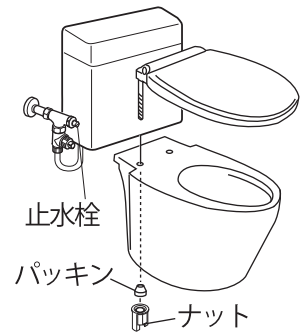
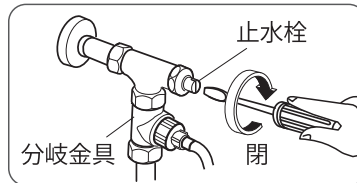
**注意**



電源プラグは、設置工事が完了するまでは、コンセントに差し込まないでください。故障する恐れがあります。

## 1 現在ご使用の便座を取り外す

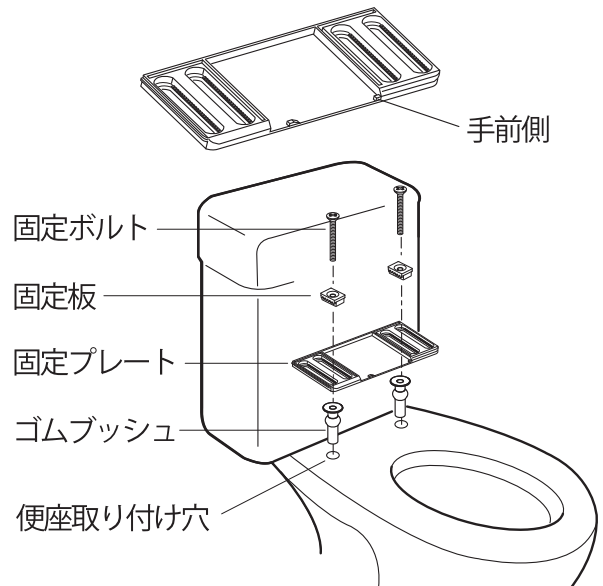
- ① 止水栓を閉める。
- ② 便座を固定しているナットをモンキーレンチなどの工具を使って取り外す。
- ③ 便座を取り外す。



## 2 便座本体の取り付け

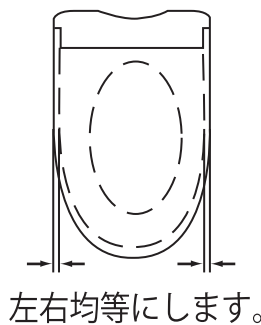
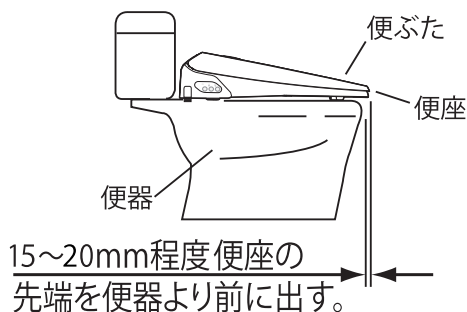
電源プラグは、設置工事が完了するまでは、コンセントに差し込まないでください。故障する恐れがあります。

- ① 便器の便座取り付け穴にゴムブッシュを差し込む。
  - ② 固定プレートの方向を確認する。
  - ③ 便座取り付け穴の上に固定プレート、固定板を置いて、固定ボルトが固定板の中に入り込むまで軽く締め込む。
  - ④ 本体をカチッと音がするまで、固定プレートの奥まで確実に差し込む。
  - ⑤ 本体の先端が便器より15~20mm前になるように固定プレートの位置を調節する。
- ※ 便座が自立する事を確認してください。(下図)
- ⑥ 固定プレートの位置が決まったら固定ボルトを増し締めし、しっかり固定する。



**注意** ・インパクトドライバーでの締め付けは行なわないでください。

Check Point!

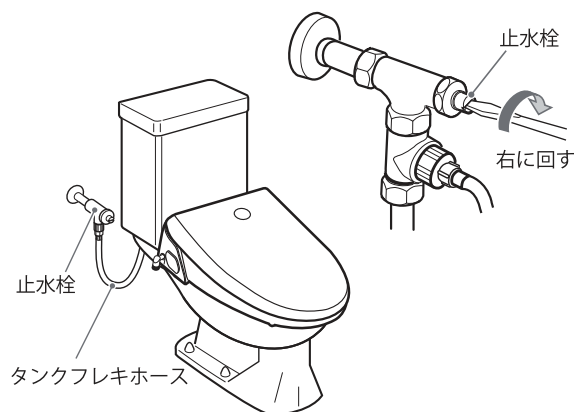


### 3 分岐金具の取り付け

タンクフレキホースを取りはずして、分岐金具を取り付けます。

#### 1. 止水栓を閉める。

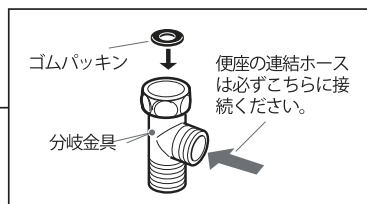
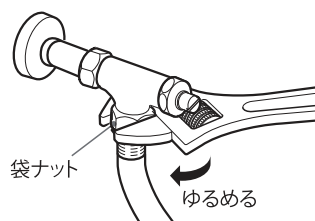
- ① 便器の止水栓をマイナスドライバーでいっぱい閉め、給水を止める。  
※止水栓は調整されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。



#### 2. タンクフレキホースをはずす。

- ① タンクフレキホースの袋ナットをゆるめて止水栓より取りはずす。  
※このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。

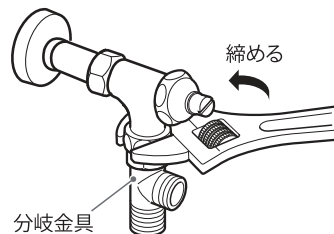
  - タンクフレキホースの袋ナット内部にはストレーナが付いています。
  - 本製品の取り付けに必要ですので、なくさないようにしてください。



#### 3. 分岐金具を取り付ける。

- ① 付属のパッキン（黒：厚さ2mm）を入れて分岐金具を止水栓に取り付ける。
- ② 分岐金具の袋ナットは、はじめに手でいっぱい締め付けてから工具で増締めする。（締め付けトルクの目安：7.5Nm）

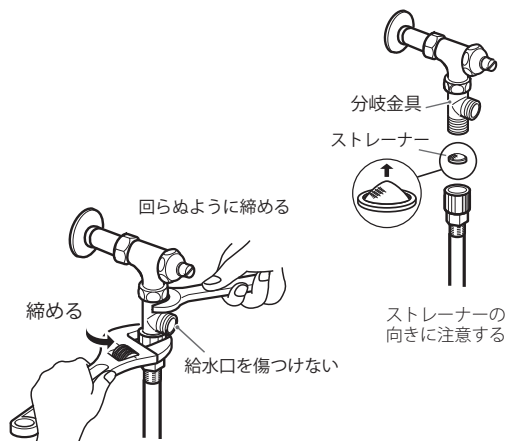
  - 止水栓に無理な力をかけないでください。  
※破損して漏水する恐れがあります。



#### 4. タンクフレキホースを取り付ける。

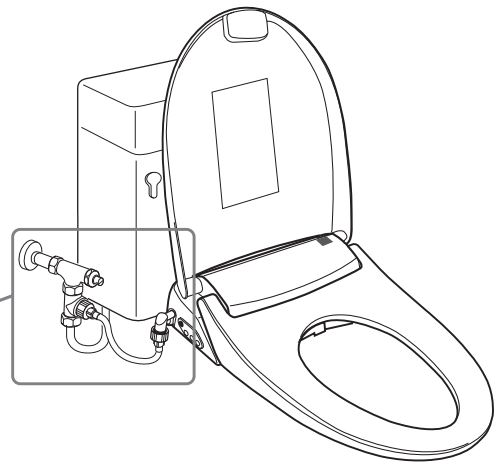
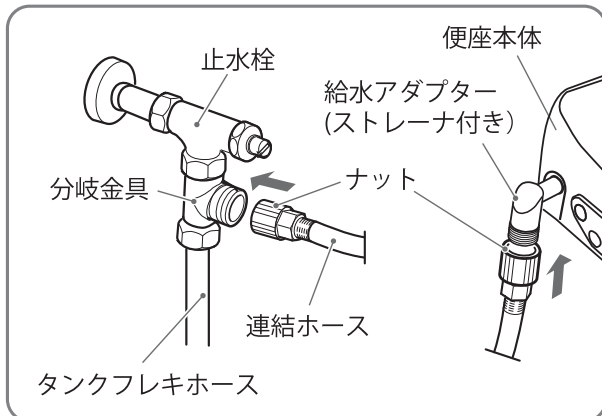
- ① ストレーナを入れてタンクフレキホースを分岐金具に取り付ける。
- ② タンクフレキホースの袋ナットは、はじめに手でいっぱい締め付けてから工具で増締めする。（締め付けトルクの目安：10～15Nm）
- ③ 分岐金具にスパナまたはモンキーレンチを当てて、分岐金具を固定しながらタンクフレキホースの袋ナットを締め付ける。

  - 止水栓に無理な力をかけないでください。  
※破損して漏水する恐れがあります。



## 4 連結ホースの取り付け

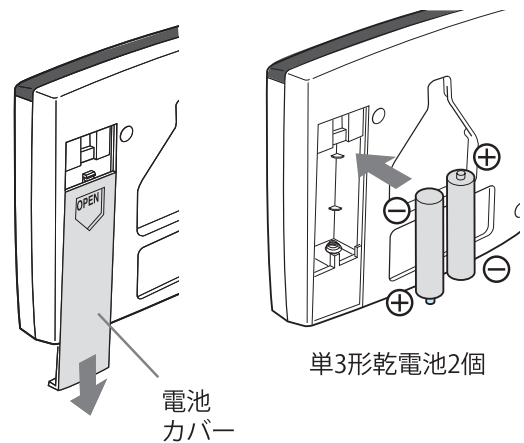
- ① 連結ホースを給水アダプターに取り付ける。
- ② 連結ホースを分岐金具に取り付ける。  
※ ナットの締め付けトルクの目安7.5N・m



## 5 リモコンの取り付け

### 1. リモコンに電池を入れる

- ① リモコンの裏面の電池カバーをはずす。
- ② 単3形乾電池2個を⊕⊖を間違えないように入れる。
- ③ 電池カバーを奥までしっかりと閉める。



### ⚠ 注意

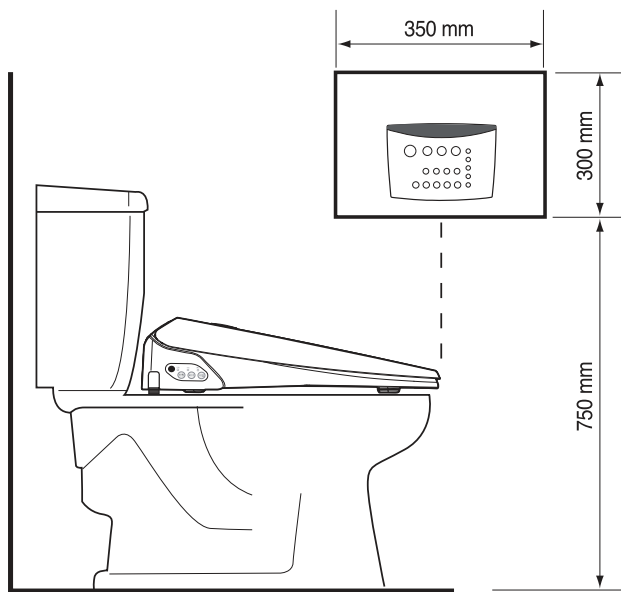
- 新旧、異種の電池は混用しないでください。
- 付属の電池は動作確認用のため、電池寿命が短い場合があります。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出してください。



## 2.リモコンの取り付け位置を決める。

### ⚠ 注意

- 取り付けにあたっては、取り付け予定位置でリモコンの便座温度設定ボタンを数回押して押すたびに「ピッ」と音が鳴ることを確認してください。

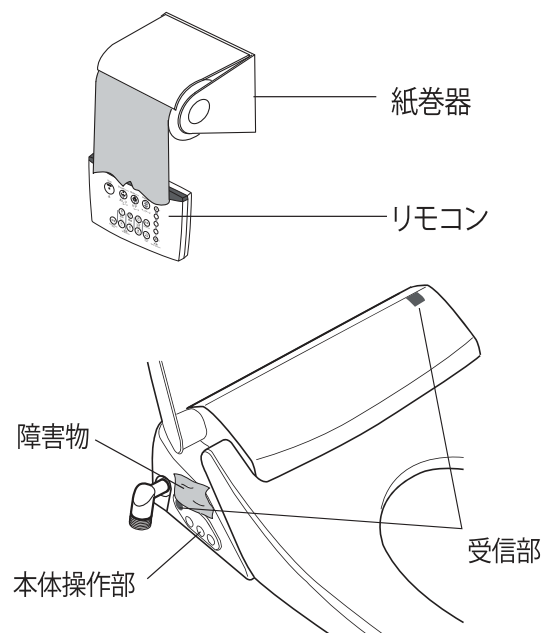


※いったん便座本体の電源プラグをコンセントに差し込み、確認後抜いてください。

 取付位置の目安

### ⚠ リモコン使用上の注意

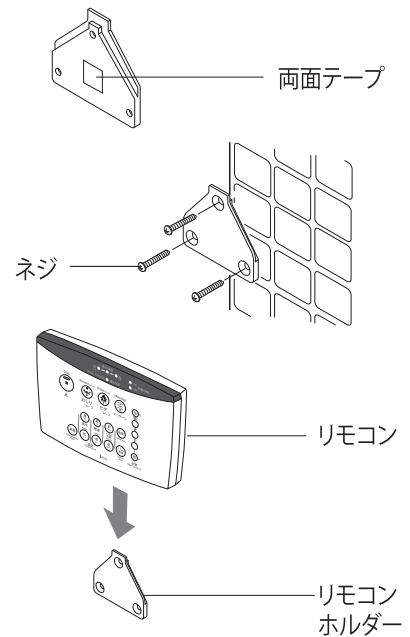
- リモコンの発信部にトイレトーパーまたは障害物があった場合、動作しない場合があります。
- 本体側面の受信部に障害物があると動作しない場合があります。
- 直射日光、インバーター蛍光灯の光が受信部に当たる場合は、リモコンからの信号を受け付けないことがあります。
- 壁の色(黒っぽい色)や材質により、リモコンからの信号が受信部に届きにくい場合があります。



### 3.リモコンホルダーの取り付け

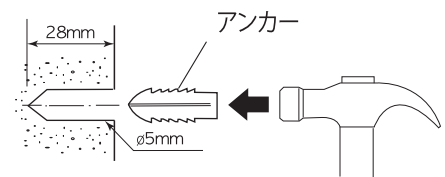
#### (1) ネジを利用

- ① ホルダーに貼りついてある両面テープの上紙をはがして壁面に貼り付ける。(仮止め)
  - ② 付属のネジ3本で固定する。
  - ③ リモコンをリモコンホルダーの上から差し込む。  
奥までしっかり差し込んでください。
- ※ 両面テープは仮止めです。必ず、ネジで固定してください。

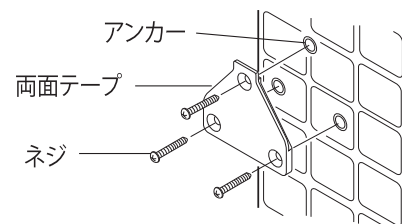


#### (2) アンカーを利用(石膏ボード、タイル、コンクリート壁への取り付けの場合)

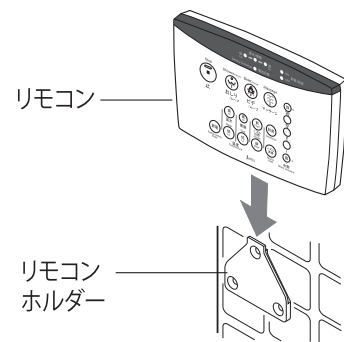
- ① リモコンホルダーの穴位置にあわせ、直径5mm、深さ約28mmの穴をあける。
- ② ハンマーなどでアンカーを穴に入れる。



- ③ リモコンホルダーを付属のネジ3本で固定する。



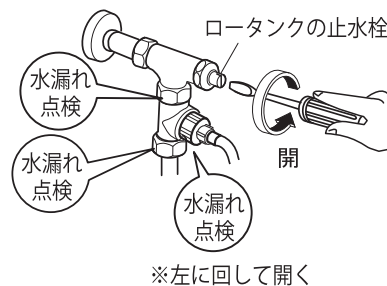
- ④ リモコンをリモコンホルダーの上から差し込む。奥までしっかり差し込んでください。



# 取り付け後の確認

## 1 水漏れの点検

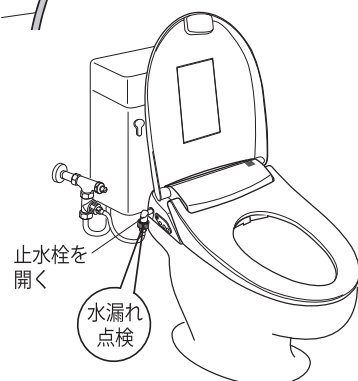
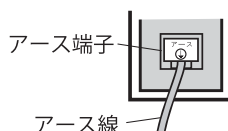
- ① 給水の前に、配管接続部のゆるみがないか再確認する。
  - ② 止水栓を開いて配管接続部から水漏れがないことを確認する。
  - ③ ロータンク内の水を排出し、給水が確実にされるか確認する。
  - ④ 本体給水接続部より水漏れがないことを確認する。
- ※ 万一、水漏れがあれば再施工を行い、水漏れを止めてください。



## 2 電源の点検

- ① アース線をコンセントのアース端子に取り付ける。
- ② 電源プラグをコンセントに差し込む。

電源プラグをコンセントに差し込んだ直後は、約10秒間マイコンが初期設定を行いますので、ボタン操作を受け付けません。初期設定終了後に試運転を行ってください。



## 3 試運転

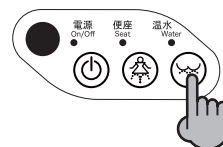
確認の前に梱包用ビニール袋を便器と便座の間に挟んで、ノズルからシャワーの吹き出す様子が確認できるようにします。

### ① 電源を入れる

1. アース線が取り付けられているか確認する。
2. 電源プラグをコンセントに差し込む。
3. ノズルが1回伸縮します。(初期動作)
4. 初期動作後、本体操作部の「電源」ランプが緑色点滅、「便座」ランプと「温水」ランプが消灯します。



便座本体操作部



### ② 「おしり」ボタンを押す(温水タンクへ給水開始)

- 温水タンクへの給水が終わると、本体操作部の「電源」ランプが緑色点滅から点灯に変わり、「ピッ」と音がなります。
- 温水タンクが満水になるまではシャワーが出ません。
- 温水・便座温度は「切」の設定になっています。リモコンで温水・便座温度の設定をする。

### ③ 便ふたを開ける

便座が温まるのを確認します。(5分程度待ちます。)

### ④ 着座センサー位置を手で覆う

- 便座センサーは便座に向かって左側前方に内臓されています。
- 着座センサーが着座を検知します。
  - 検知後、本体操作部ので「電源」ランプが5秒間赤色点滅することで、検知の確認ができます。
  - 脱臭を開始します。(脱臭ファン動作音)

### ⑤ 「おしり」ボタンを押す。シャワーが出ます。

- ### ⑥ 「止」ボタンを押す。シャワーが止まりノズルが収納します。

梱包用ビニール袋

着座センサー

## 4 凍結防止について

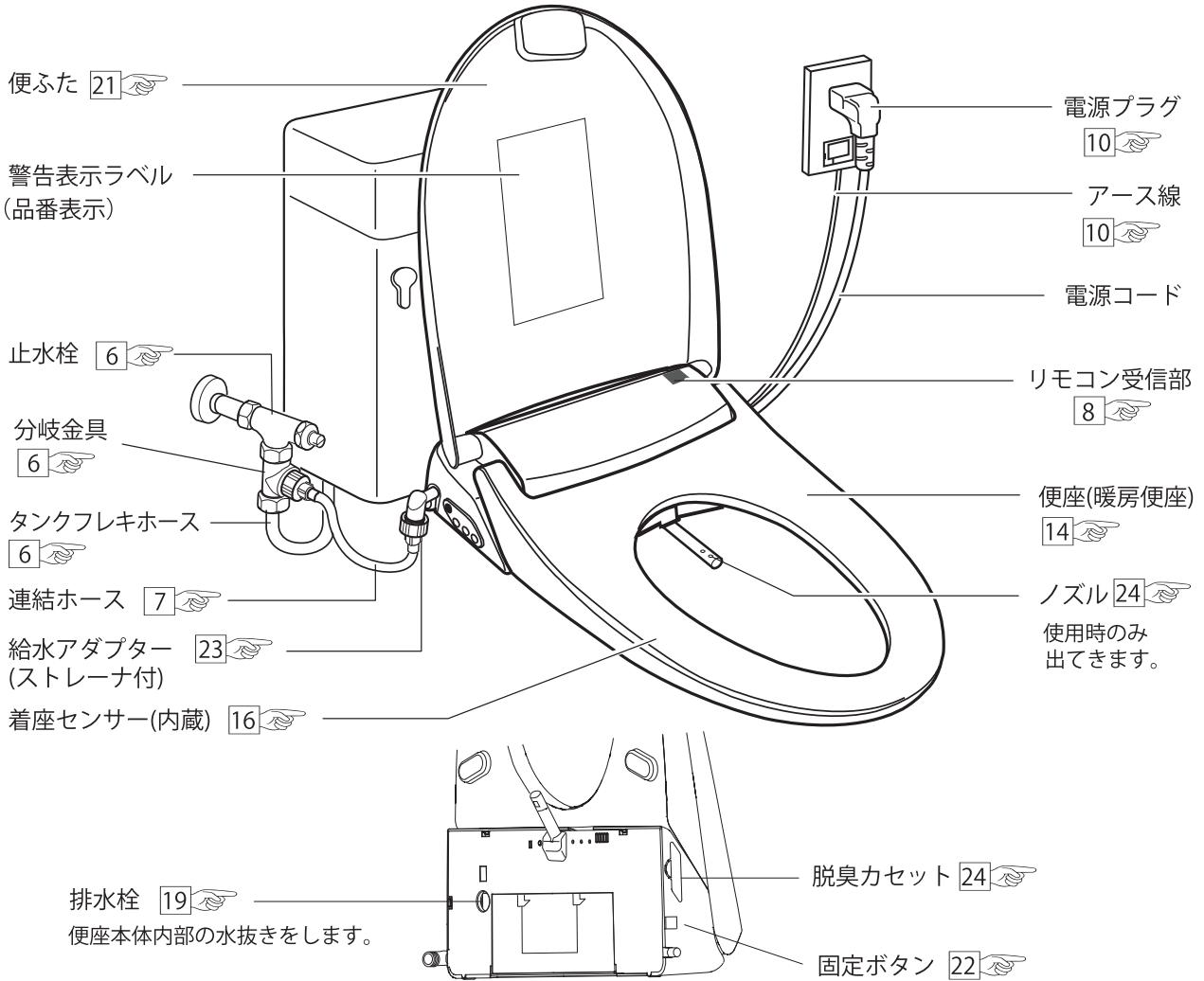
試運転後、凍結の恐れがある場合は、リモコンの温水温度調節ボタンを押して「中」または「高」に設定して電源を切らないでください。また設置後、使用開始するまでに期間があり凍結のおそれがある場合は、「凍結防止について」(19、20ページ)に従って水抜きをしてください。

## 5 便座カバーの使用について

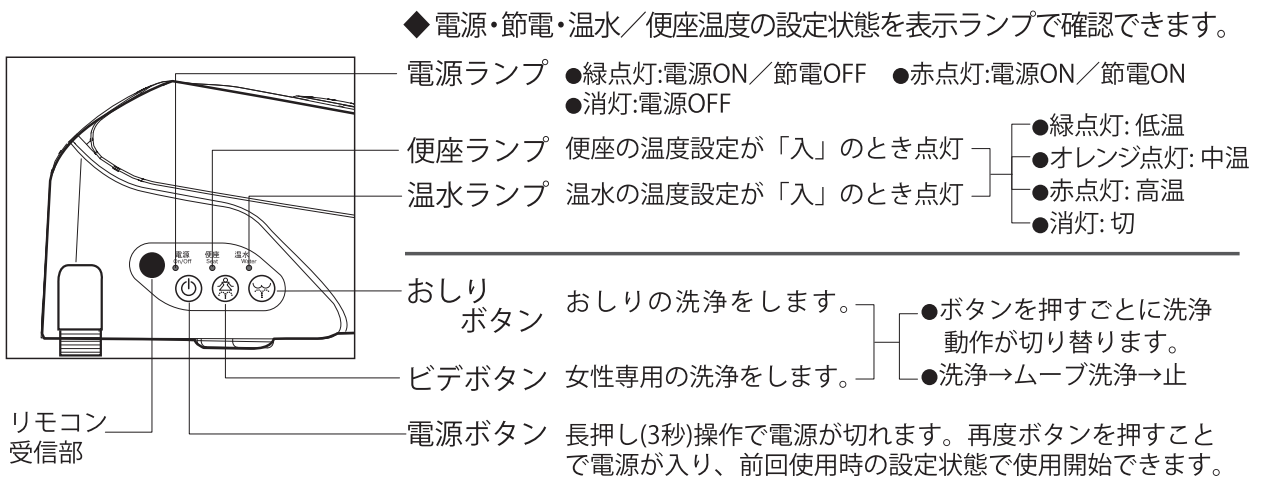
暖房便座に便座カバーを取り付けて使用すると、着座センサーが検知できなくなり、不具合が生じることがあるため、使用しないでください。

# 各部のなまえとはたらき

## ■ 便座本体部

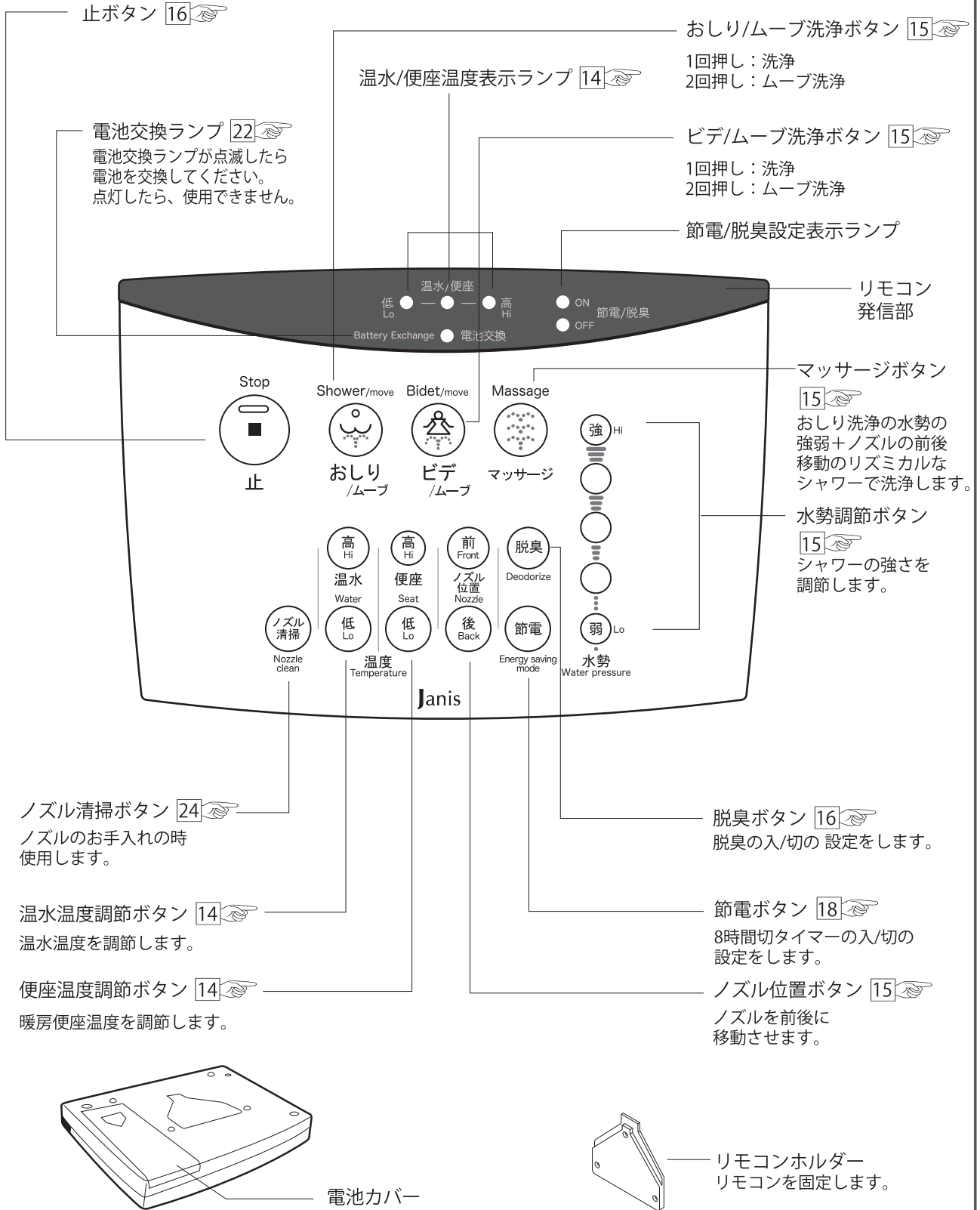


## ■ 便座本体操作部



中の数字は説明しているページを示しています。

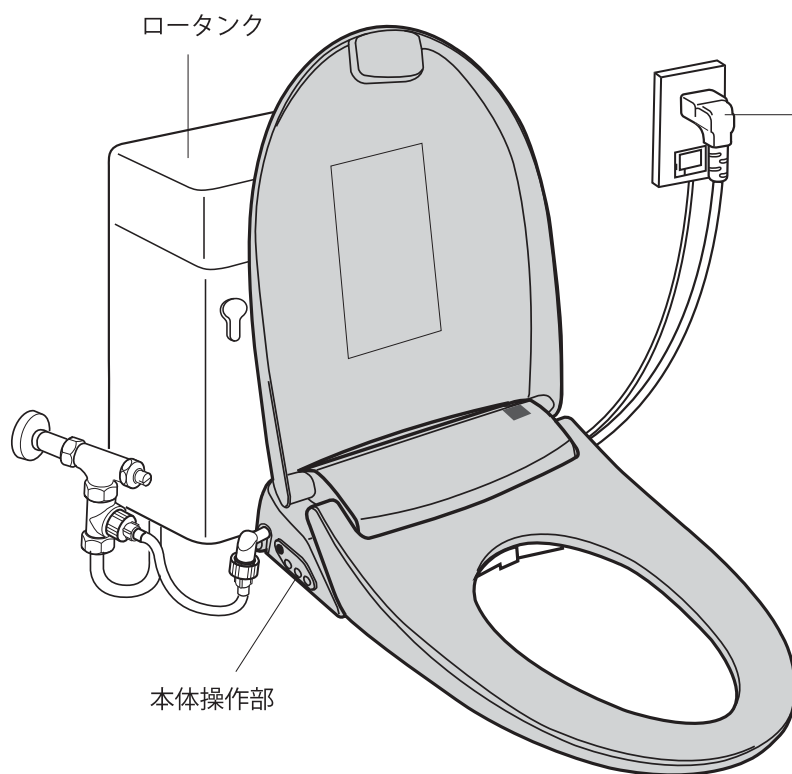
## ■ リモコン部



中の数字は説明しているページを示しています。

# ご使用になる前に

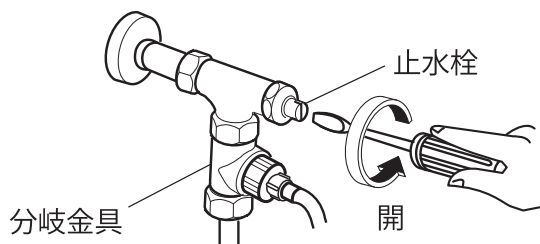
## ■ 確認してください



電源プラグを差し込むと  
本体操作部の電源ランプ  
が緑色で点滅します。  
10ページの③ 試運転に  
従って操作してください。  
緑色で点灯している場合は  
そのままご使用できます。

## ■ 止水栓の確認

設置後、止水栓は開いていますか。  
閉じている場合は、止水栓を開いて  
ください。



## ■ リモコン

電池が正しく入っているか確認してく  
ださい。

# 使いかた

## お知らせ

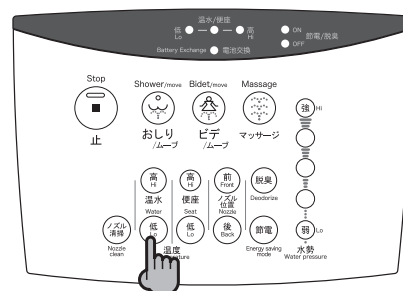
リモコンのランプは点灯後、本体動作中であっても約10秒で消灯します。  
便座/温水温度、脱臭/節電の設定を変えたい場合には当該ランプが点灯している間に行ってください。

### ■ 温水温度を設定する

リモコンの温水の **高** または **低** を押して設定する



[リモコン]



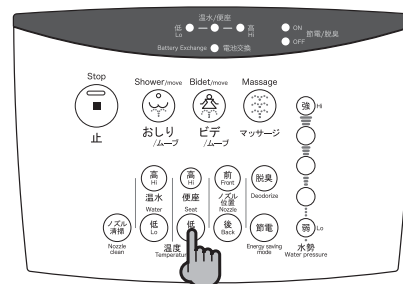
- 温水温度表示ランプは点灯後、約10秒経過すると消灯します。
- 温水は、着座中に約1分で設定した温度まで温めます。(室温、水温によって異なります)
- リモコンの表示が消えているときにリモコンのボタンを押すと以前に設定した状態が表示されます。
- 現在の温水温度は、本体操作部にある温水ランプの発光色で確認してください。

### ■ 便座温度を設定する

リモコンの便座の **高** または **低** を押して設定する



[リモコン]



- 便座温度表示ランプは点灯後、約10秒経過すると消灯します。
- 約5分後に設定した温度になります。(室温によって異なります)
- リモコンの表示が消えているときにリモコンのボタンを押すと以前に設定した状態が表示されます。
- 現在の便座温度は、本体操作部にある便座ランプの発光色で確認してください。

# 使いかた (つづき)

幼児が使用するときには周りのかたが注意してあげてください。  
便器内にはまったり、指をはさんでけがをするおそれがあります。

## ■ おしり洗浄・ビデ洗浄をする

### 1 座る

- ・便座の中央に座ります。
- ・着座すると便座本体の電源ランプが5秒間赤色で点滅した後、緑色で点灯します。  
また、節電(8時間切タイマー)を設定している場合は、5秒間赤色で点滅した後、点灯(赤色)します。

### 2 洗う

#### おしり洗浄をする



- ・局部周辺の汚物を洗い流す機能です。
- ・長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。 ※1

#### ビデ洗浄をする



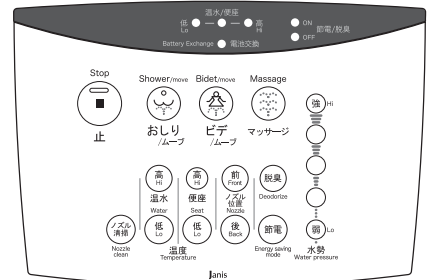
- ・局部周辺の汚れを洗い流す機能です。
- ・長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。 ※1

#### マッサージをする



- ・強弱/前後のリズミカルなシャワーで洗浄します。(おしり洗浄のみ)

[リモコン]



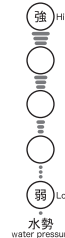
※1 常駐菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。  
局所の治療・医療行為を受けている方は、使用については医師の指示を守ってください。

### おしり洗浄・ビデ洗浄のときに

おしり洗浄・ビデ洗浄を行っているときしか水勢の調節及び、ムーブ洗浄はできません。

#### 水勢を調節する

- 右側の水勢ボタンを押して調節できます。
- ・5段階で調節できます。
- ・好みの強さのボタンを直接押して調節してください。
- ※水勢の強さ設定は本体に記憶されます。  
再び使用する時には記憶された段階で始まります。



#### ムーブ洗浄をする

- ・おしり洗浄・ビデ洗浄を行っている時、おしりボタン又はビデボタンを押します。
- ・ノズルが前後に動き、広い範囲を洗浄できます。もう一度おしり・ビデボタンを押すとムーブなしの洗浄に戻ります。



#### ノズルの位置を調節する

- おしり洗浄またはビデ洗浄中に「前」後ボタンを押します。
- ・7段階で調節できます。
- ・ボタンを押すごとに、1段階ずつ調節できます。
- ※ノズル位置の設定は本体に記憶されます。  
再び使用する時には記憶された段階で始まります。
- ※便座本体操作部の「おしり」「ビデ」を使用すると水勢は「3段階」、ノズル位置は「4段階」に設定されます。



#### 洗浄強さをさらに強くする



- ・洗浄強さを「強」よりさらに1段階強くすることができます。 ※温水温度の維持時間は短くなる場合があります。
- ・温水の「高」ボタンと水勢の「強」ボタンを同時に3秒以上押してください。



### 3 止める



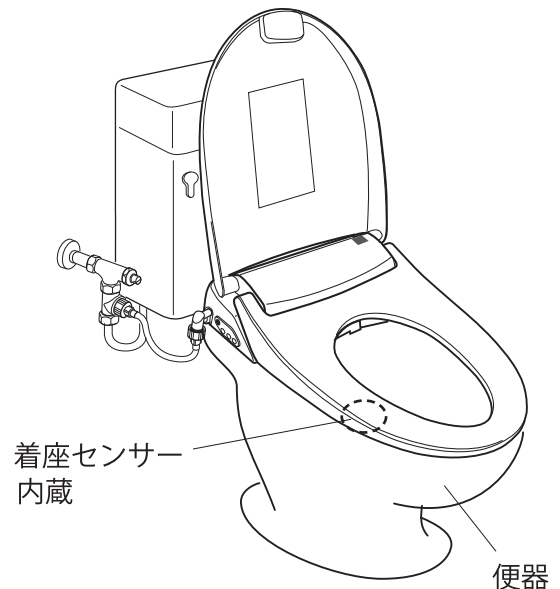
を押す

洗浄停止後、ノズル付近から水滴が約1~2秒落ちることがあります。これは、ノズル自動洗浄によるもので、故障ではありません。

## ■ 知っておいていただきたいこと

### 着座センサー(内蔵)

- この商品には着座センサーが内蔵されています。着座すると、便座本体の電源ランプが約5秒間点滅(赤色)した後、点灯(緑色)します。また、節電(8時間切タイマー)を設定している場合は電源ランプが約5秒間赤色で点滅した後、点灯(赤色)します。
- 温水洗浄便座使用中に立ち上がったたり体を浮かせたりした時は、着座センサーが「切」になり、シャワーが止まります。
  - ※ 便座カバーを取り付けて使用すると着座センサーが検知できないので使用しないで下さい。
  - ※ ノズルのお手入れ時に着座センサー部に手を置くと着座を検知する場合がありますので、お手入れの際はリモコンのノズル清掃ボタンを押してノズルが出てから行ってください。



### 切り忘れ防止タイマー

- 「止める」操作をしない場合は、洗浄は自動的に2分間で止まり、ブザー音が「ピー」と鳴ります。また、便座から立ち上がった時も自動的に止まります。

### 温水・便座の温度

- 温水は、座っているときに設定した温度まで温めます。季節や温水にもよりますが温まるまでには約1分かかります。
- 停電が1秒以上続いたときや電源プラグをコンセントから抜いたときは、リモコンで温水・便座の温度調節を再度、設定してください。
- 冬場では温水温度の維持時間が短くなるため、必要に応じて水勢を弱めて使用してください。

### 自動脱臭機能(触媒脱臭)

- 工場出荷時は自動脱臭に設定されています。
- 着座して着座センサーが検知すると、脱臭ファンが動作して脱臭を始めます。便座から立ち上がって1分後に脱臭は止まります。便座に座り続けた場合は、30分後に止まります。
  - リモコンの脱臭ボタンを押すごとに、入(ON)/切(OFF)が設定できます。

# 使いかた (つづき)

## 使用中の音

- ・使用中に「シュー」という音がすることがあります。  
これは便座本体の温水タンクで温水が沸きあがる音で異常ではありません。

## マイコンの初期設定

- ・電源プラグをコンセントに差し込んだ直後は、約10秒間初期設定を行いますので、その間はボタン操作を受け付けません。約10秒後から使用してください。

## 水道圧が低いとき

- ・水道圧0.069MPa(0.7kgf/cm<sup>2</sup>)より低いとき、水勢を「強」に設定しても、十分な水勢が得られないことがあります。
- ・通常十分な水勢が得られていても、他の蛇口で水を使ったり、水道圧が0.069MPa(0.7kgf/cm<sup>2</sup>)より低くなると、十分な水勢が得られないことがあります。

## 低温やけど防止

- ・長時間便座に座り続けると、低温やけどになる場合があります。  
便座に座ってから、約1時間後に自動的に便座ヒーターの通電が停止し、電源、便座、温水ランプが点滅します。立ち上がると自動的に復帰します。

## 停電になったとき

- ・停電になると、便座本体操作部のランプは全て消えます。
- ・停電が回復すると、便座本体操作部の電源ランプが緑色に点灯し、温水と便座ランプは消灯し、温度設定が「切」の状態となりますので、14ページの設定方法に従って設定し直してください。

## 便座、便ふたのソフト閉止機能

- ・便座、便ふたはゆっくりと閉まる機構となっています。
- ・便座、便ふたを開閉する際に、無理な力を加えると故障の原因となります。

## 操作音 ON/OFF機能

- ・操作音をON/OFFすることができます。
- ・設定方法：リモコンの「止」ボタンと水勢の「弱」ボタンを同時に3秒以上押す。
- ・設定完了後(切替直後)は、「ピッ」と音がなります。  
元に戻すには、同じ操作を行ってください。

## ■ 節電(8時間切タイマー)機能を使うとき

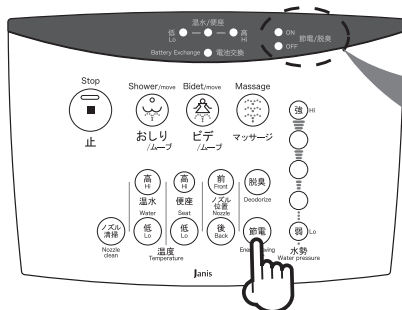
お出かけやおやすみのとき

- 節電の8時間切タイマーを設定すると、リモコンの節電ランプが約10秒間点灯した後、消えます。設定したときから8時間、温水ヒーター・便座ヒーターへの通電を停止します。お出かけやお休みのときなど、長時間使用しない場合にお使いください。

※節電設定中に座る(着座センサーが検知する)と、通電停止中でも温水ヒーターと便座ヒーターに通電し、設定温度まで温度を上げます。(設定温度になるまで、温水は約1分、便座は約5分かかります。

使用後は再度通電を停止し、節電タイマーを継続します。

### [リモコン]



### リモコンの節電を押して設定する

1回押しごとに設定モード切替	便座温度	温水温度
● ON	8時間 通電停止	8時間 通電停止
● OFF	通電	通電

- 途中で解除したいとき



を押して、リモコンの節電ランプの表示をOFFに切替えてください。この時ブザーが「ピー」と鳴ります。節電の設定中は、本体の電源ランプが点灯（赤色）しています。

## ■ その他の節電のしかた

### 便ふたを閉じる

- 使用しないときは便ふたを閉じてください。無駄な放熱を防ぎます。

### 夏は温度設定を低めに

- 夏は温水や便座温度を低めに設定しましょう。

### こまめに電源を切る

- 外出時など長時間使用しないときは、本体操作部「電源」ボタンを「切」に設定すると節電になります。

# 凍結防止について

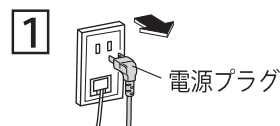
室温が0℃以下になると凍結の恐れがあります。製品の凍結破損を防ぐため、次のように凍結防止をしてください。

## ■ 凍結のおそれがある場合

- 他の器具でトイレ内を暖房してください。※暖房器具の注意書きに従って使用してください。暖房器具の熱源を近づけると便座本体が変形するおそれがありますので、注意してください。
- 配管部は、市販の凍結防止用テープヒーターを取り付けてください。
- トイレ内を暖房できない場合は、下記の手順で水抜きをしてください。

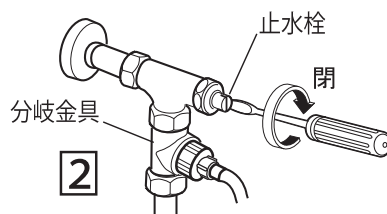
## ■ 水抜きの方法

### 1. 電源プラグを抜く



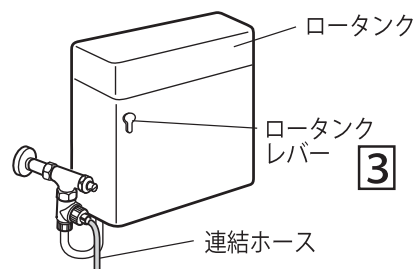
### 2. 止水栓を閉める

- ① ドライバーで右方向にまわします。



### 3. レバーを操作する

- ロータンク内の水を排水し、給水しないことを確認してください。



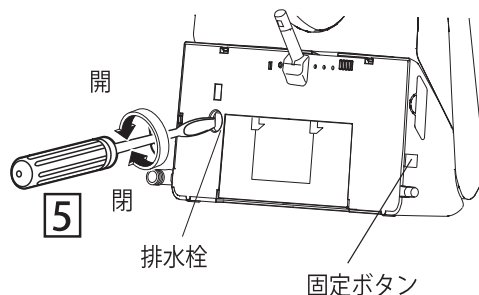
### 4. 連結ホース内部の水抜きをする

- ① 連結ホースを本体と分岐金具から取り外し、水抜きをします。
- ② 水抜きをした後、連結ホースを分岐金具に取り付けます。

4

### 5. 排水栓から便座本体内部 (温水タンク)の水抜きをする

- ① 便座本体右下奥にある固定ボタンを押したまま便座本体を手前に引き、便座本体を取り外す。(連結ホース、給水管に力を加えないでください)
- ② 便座本体裏面の排水栓を ①ドライバーなどを使用して左方向(開)に回して引き出す。
- ③ 水抜き後、排水栓を押し込んで右方向(閉)に回して締め付ける。
- ④ 便座本体を便器に取り付ける。



### 万一凍結してしまったときは

便座本体内部や配管の自然解氷を待ってから使用してください。

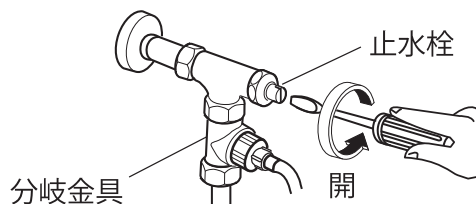


- バケツなどを置くスペースがない場合は、便座本体を取り外し、便器からずらして便器内に、水抜きをしてください。

## ■ 水抜き後の再通水の方法

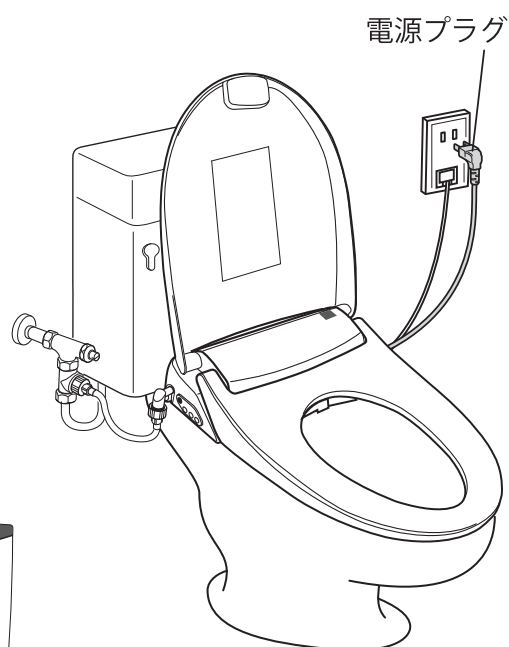
### 1. 止水栓を開ける

①ドライバーで左方向にまわします。  
止水栓から水が漏れていないか確認してください。



### 2. 電源プラグをコンセントに差し込む

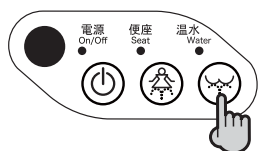
便座本体操作部の電源ランプの点滅(緑色)を確認してください。  
(電源プラグをコンセントに差し込んだ直後は、約10秒間初期設定を行います)



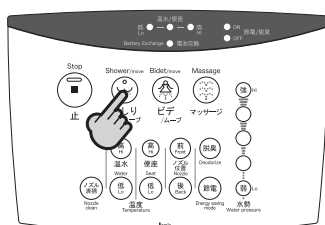
### 3. おしりボタンを押す

自動的に給水されます。給水が終わると、  
電源ランプが点滅から点灯に変わり、  
ブザー音が「ピッ」と鳴ります。

〔便座本体操作部〕



〔リモコン〕



### 4. 温度設定をする

リモコンの温水・便座の(高)または(低)を押して、  
温度設定を行ってください。

# お手入れ

## ⚠ 警告

必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お手入れしてください。  
(ノズルのお手入れの場合は、電源プラグを差し込んだまま行ってください。)

## ⚠ 警告

お手入れが終了したら、電源プラグは、コンセントの奥までしっかり差し込んでください。

## ⚠ 注意

汚れは、水をふくませた柔らかい布、またはうすめた台所用中性洗剤をふくませた布でふき取ってください。

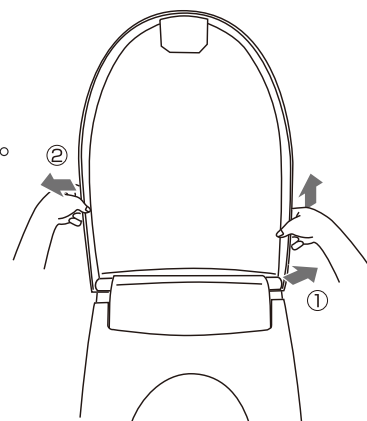
- ・シンナー・ベンジン・トイレ用洗剤・トイレ用おそうじティッシュ・薬品でふいたり、殺虫剤・芳香剤・消臭剤をかけたりしないでください。
- ・クレンザーやみがき粉が入っている洗剤やたわしは使用しないでください。変色・変形・傷つきの原因となります。便器を洗うときのトイレ用洗剤が、便座本体に付かないようにしてください。また、便座についたトイレ用洗剤は確実にふき取ってください。
- ・酸性やアルカリ性の洗剤は使用しないでください。気化ガスが便座本体に入り、腐食・故障の原因になります。

## ■ 便ふた

便ふたを取りはずしてお手入れをすることができます。  
便ふたを閉じた状態で取り外し、取り付けを行ってください。

### 1. 便ふたを取りはずす

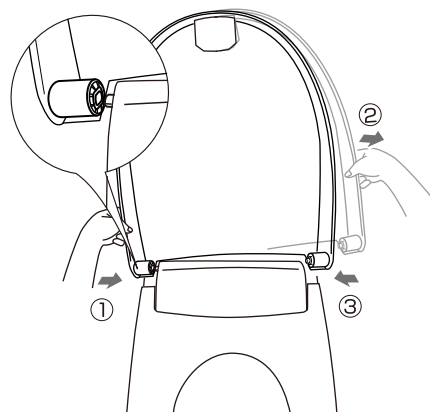
- ① 便ふたの左側を広げながら持ち上げる。
- ② 右軸をはずす。
  - ・指をはさまないように注意してください。



### 2. お手入れをする

### 3. 便ふたを取り付ける

- ① はずした状態と同じ角度で、右軸を先に取り付ける。
- ② 左軸を取り付ける。

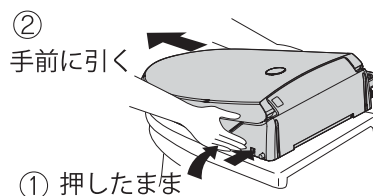
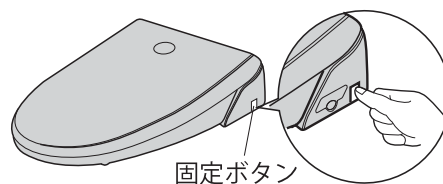


## ■ 便座本体

・便座本体を取りはずして、裏側や便器の上面も掃除してください。

### 1. 便座本体を取りはずす

- ① 便座本体右下奥にある固定ボタンを押したまま
- ② 便座本体を手前に引く。



### 2. お手入れをする

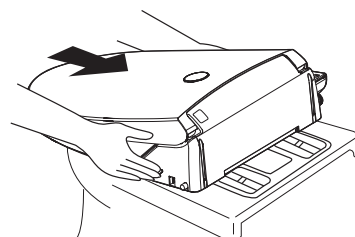
- ・便器面を掃除します。
- ・配管部のホースなどに無理な力がかからないようにしてください。

## ⚠ 警告

便座本体に水をかけないでください。

### 3. 便座本体を取り付ける

- ① 便座本体のくぼみと固定プレートの位置を合わせる。
- ② 固定プレートのおくまで確実に押し込む。  
(手前に引き、固定されたか確認してください)



## ■ リモコンの電池交換

電池交換ランプが点滅したら早めに電池交換してください。

リモコンの設置場所によっては電池交換ランプが点滅する前に使用できなくなる場合があります。

通常は消灯していますが、点灯状態になると使用できません。

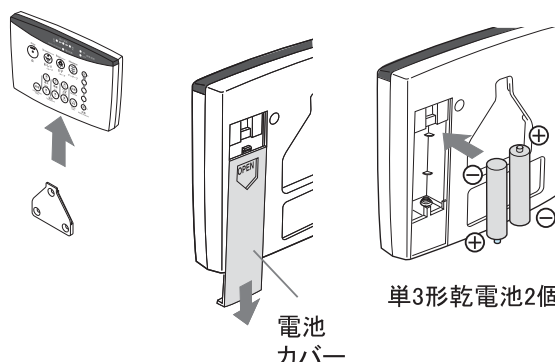
1. リモコンを持ち上げて、リモコンホルダーから外す。

2. 電池カバーを外し、新しいアルカリ電池に取り替える。

- ・電池寿命の目安は約1年です。(付属の電池は動作確認用ですので電池寿命が短い場合があります)

3. 電池カバーを元の状態にはめ、リモコンをホルダーに差し込む。

※電池は消耗品です。



## ⚠ 注意

- ・電池のプラスとマイナスの向きをリモコンの表示に従って正しく入れてください。
- ・新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。
- ・充電タイプの乾電池は使用できなかつたり、電池の使用期間が短くなります。

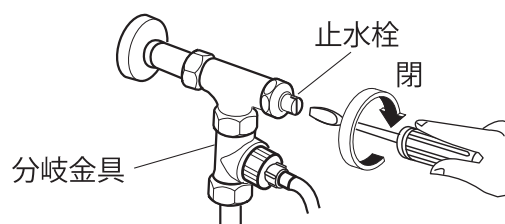
# お手入れ (つづき)

## ■ ストレーナー

ストレーナーが詰まるとシャワーの水勢が弱くなりますのでお手入れしてください。

### 1 止水栓を閉める

①ドライバーで右方向にまわします。



### 2 ストレーナーを掃除する

(給水アダプターの下にバケツなどを置きます)

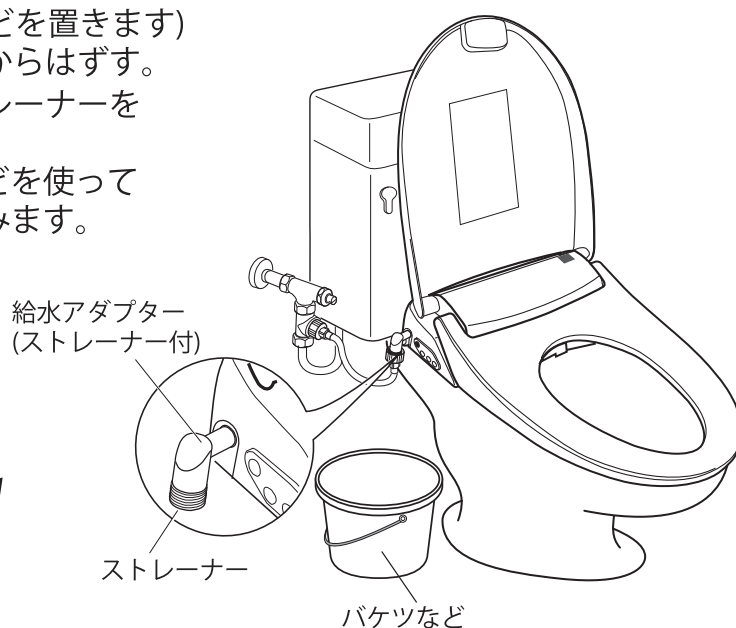
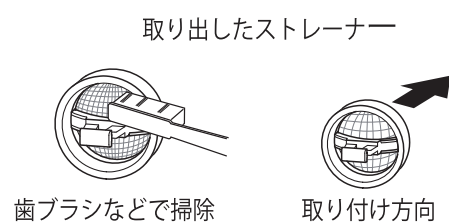
① 連結ホースを給水アダプターからはずす。

② 給水アダプター内にあるストレーナーを取り出して掃除する。

水洗いしながら、歯ブラシなどを使って掃除し、元の位置まで押し込みます。

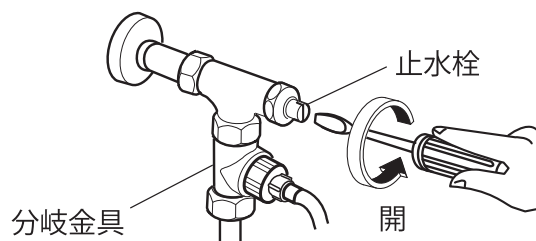
※ 元にもどすとき逆に取り付け  
ないよう注意してください。

③ 連結ホースを取り付ける。



### 3 止水栓を開ける

①ドライバーで左方向にまわします。



### 4 水漏れの確認

給水アダプターから水漏れのないことを確認する。

※ 万一水漏れがある場合は連結ホースの取り付けを再度行ってください。

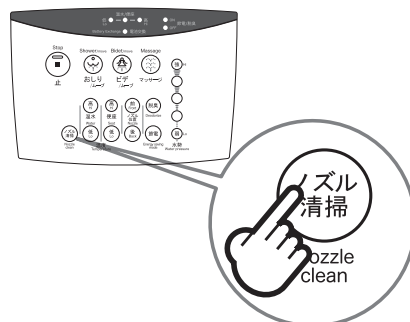


## ■ ノズル(おしり ビデ用)

- ・ノズルが汚れると、シャワーが横に飛び散ったり、シャワー使用后ノズルが戻らなくなりますので、必ずお手入れしてください。

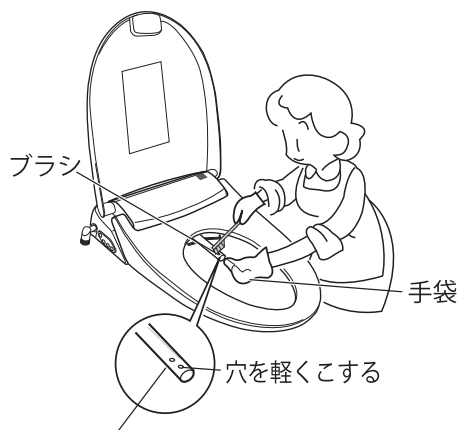
### 1. リモコンのノズル清掃ボタンを押す

- ① 1回押すと、ノズルが出ます。
  - ② もう1回押すと、ノズルが戻ります。
- ※ 「止」 ボタンを押してもノズルが戻ります。



### 2. 汚れを落とす

- ・ブラシでノズル本体・ノズル先端の全周、及びノズル先端の穴を軽くこすって汚れを落とします。
- ・掃除完了後、リモコンのノズル清掃ボタンを押して、ノズルを復帰させます。(最初ノズル掃除ボタンを押してから3分後には自動的に復帰します)



ノズルの全周を軽くこする

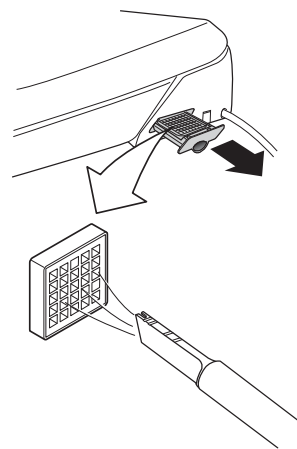
## ⚠ 注意

ノズル動作の操作は必ずリモコンで行ってください。手でノズルを引き出すと故障する恐れがあります。

## ■ 脱臭フィルター

- ① 脱臭カセットを引き出す。
- ② 脱臭フィルターのほこりを、掃除機などで取り除く。
- ③ 脱臭カセットをもと通りに差し込む。
  - ・確実にセットしてください。

※ 脱臭フィルターの交換目安は7年です。



## ■ 便座本体内部の水抜き

- ・便座本体内部の水抜きをして沈殿物を排出してください。ノズルの穴がつまる原因となります。(3ヶ月に1回程度)
- ※ 水抜きの方法・水抜き後の再通水の方法は 19,20ページを参照ください。

# 点検のお願い

## ■ 日常点検

安全に長くご愛用いただくために、日頃から点検を行ってください。

電源コードが熱くなっていませんか？  
傷んだり、挟みこんだりしていませんか？

暖房便座が異常に熱いときや暖かくな  
らないときはありませんか？

暖房便座の開閉はスムーズですか？  
ガタツキはありませんか？

こげた臭いはしませんか？  
異音・異臭はありませんか？

配管や本体から水漏れしていませんか？

本体や暖房便座にひび割れはありま  
せんか？ゴム脚は外れていませんか？



故障したまま使い続けると、火災や感電、室内浸水の原因になります。すぐに使用を中止し、電源プラグを抜き、止水栓を閉め、お買い上げの販売店または当社に連絡してください。

## ■ 定期点検のおすすめ

安全に末永く快適にご使用いただくために、約5年を目途に定期点検を受けていただくことをおすすめします。(定期点検に要する費用は有料となります) 逆流防止装置が磨耗・劣化すると水の逆流の原因になりますので、お早めの交換をおすすめします。

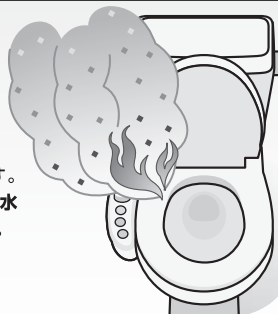
### 重大事故防止のためのお願い

## 温水洗浄便座は電気製品です

故障したままのご使用や長年のご使用は、電子・電気部品が劣化し発煙発火の恐れがあります

### 定期的な点検をおすすめします

安心してご使用いただくため、**定期的な点検(有料)**をおすすめします。また、**長期間(10年以上)**ご使用の温水洗浄便座は買い替えをご検討ください。販売店、工事店またはメーカーへご連絡ください。



### 故障したままで使わないでください

火災や感電、室内漏水の原因になります。異常に気づいたら、すぐに**電源プラグを抜き、止水栓を開けてご使用を中止し、販売店、工事店またはメーカーへご連絡ください。**

### 温水洗浄便座 セルフ安全チェックポイント

次のような症状は、火災や感電の原因になります。電源プラグを抜き、止水栓を開けて、すぐに販売店、工事店またはメーカーへご連絡してください。

- |  |   |   |
|--|---|---|
| <input type="checkbox"/> 便座のゴム足が外れている、ガタツキがある      | <input type="checkbox"/> 製品から水漏れしている(内部の電子・電気部品が被水) | <input type="checkbox"/> 電源コードが熱くなっている        |
| <input type="checkbox"/> 電源コードがねじれたり、便座で挟み込んだりしている | <input type="checkbox"/> 操作部のシールがめくれたり、ひび割れたりしている   | <input type="checkbox"/> 電源プラグの差込部が発熱・変色している  |
| <input type="checkbox"/> 便座にひびや割れがある               | <input type="checkbox"/> (内部の電子・電気部品が被水)            | <input type="checkbox"/> 便座が異常に熱いときや、冷たいときがある |

一般社団法人 日本レストルーム工業会 <http://www.sanitary-net.com>

※2015年4月より、(一社)日本衛生設備機器工業会と(一社)温水洗浄便座工業会が合併し、(一社)日本レストルーム工業会になりました。

# 故障かな?と思ったら

万一、故障かなと思われることがありましたら、修理を依頼される前に次のことを調べてください。

症状	確認するところ	処置
電源ランプが点滅(緑色)している	<ul style="list-style-type: none"> <li>初期操作を行いましたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おしりボタンを押す。(10ページ参照)</li> </ul>
電源ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源プラグがコンセントから抜けていませんか。</li> <li>電源をOFFにしていませんか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源プラグをコンセントの奥まで差し込む。</li> <li>本体操作部の電源ボタンを押す。</li> </ul>
ノズルやシャワーが出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道が断水していませんか。</li> <li>止水栓が閉まっていませんか。</li> <li>着座センサーが正しく動作していますか。</li> <li>便座カバーがついていませんか。</li> <li>ノズルが詰まっていませんか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通水されるまで待つ。</li> <li>止水栓を開く。</li> <li>便座の中央に座る。</li> <li>便座カバーを取り外す。</li> <li>ノズルをお手入れする。</li> </ul>
水勢が弱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>水圧が普段より低くなっていませんか。 [0.069MPa(0.7kgf/cm<sup>2</sup>)以下]</li> <li>止水栓が十分に開いていませんか。</li> <li>給水アダプターのストレーナが詰まっていませんか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の水道の同時使用をなるべくさける。</li> <li>止水栓を十分に開ける。</li> <li>ストレーナを掃除する。</li> </ul>
暖房便座の温度が低い・冷たい	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモコンの便座温度ランプが「低」や「切」になっていませんか。</li> <li>停電になったことはありませんか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「高」側に設定する。</li> <li>リモコンで再び便座温度を設定する。</li> </ul>
温水/便座の温度が低い・冷たい	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモコンの温水温度ランプが「低」や「切」になっていませんか。</li> <li>停電になったことはありませんか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「高」側に設定する。</li> <li>リモコンで再び便座温度を設定する。</li> </ul>
便座本体がぐらつく	<ul style="list-style-type: none"> <li>固定ボルトがゆるんでいませんか。</li> <li>便座本体が固定プレートから外れていませんか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>固定ボルトを締める。</li> <li>固定プレートの奥まで確実に差し込む。</li> </ul>
リモコンを押しても動作しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>「電池交換」ランプが点滅または点灯していませんか。</li> <li>または、ボタンを押してもランプが消えたままになっていませんか。</li> <li>リモコンの発信部、便座本体の受信部に障害物はありませんか?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電池交換をする</li> <li>電池の挿入状態を確認する。</li> <li>障害物を取り除く。</li> </ul>
2台以上の製品が同時に動作する	<ul style="list-style-type: none"> <li>トイレの壁を越えて隣の信号を受けていませんか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモコン信号の変更ができます。(27ページ参照)</li> </ul>
脱臭効果が感じられない	<ul style="list-style-type: none"> <li>脱臭機能は設定されていますか。</li> <li>脱臭フィルターにほこりがたまっていますか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモコンで脱臭機能を設定する。</li> <li>脱臭フィルターのほこりを取り除く。</li> </ul>

上記のことをお調べになり、それでも異常がある場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または当社にご連絡ください。

# 異常報知について

本体に異常が発生すると表示ランプの点滅やアラーム音でお知らせします。

表示内容	考えられる原因と処置のしかた
電源 On/Off ● 便座 Seat ● 温水 Water ☀	<ul style="list-style-type: none"> <li>温水温度異常</li> <li>温水温度センサーの故障による温水温度制御不能</li> </ul>
電源 On/Off ● 便座 Seat ☀ 温水 Water ●	<ul style="list-style-type: none"> <li>便座温度異常</li> <li>便座温度センサーの故障による便座温度制御不能</li> </ul>
電源 On/Off ☀ 便座 Seat ● 温水 Water ●	<ul style="list-style-type: none"> <li>タンク内の水量低下・不足(水漏れなど)</li> <li>水位センサーの故障などによる水位制御不能</li> </ul>

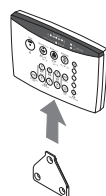
ご使用をやめて電源プラグを抜き、点検・修理をご依頼ください。

表示ランプ ● : 点灯 ☀ : 点滅 ○ : 消灯

# 連立トイレの取り付けについて

リモコンは工場出荷時には、どれも同じ設定ですので、リモコンの設定を変えずに、隣接するトイレで本製品が2台以上使用された場合に、誤作動の原因となりますので必ず以下の手順に従ってモードを変えてください。工場出荷時に設定されているモードも含め11種類の設定が可能です。

モードを変更する際、隣接する製品にも電源が入っていると同一モードに設定される恐れがあるため、必ず1台ずつ電源を入れて設定してください。



1. リモコンをリモコンホルダーから取り外す

2. 設定モードに入る

- リモコンの (節電) ボタン と 便座温度調節 (低Lo) ボタンを同時に3秒間押す。
- 工場出荷時にはモード1になっています。
- リモコンの便座温度調節ボタン (高Hi) または (低Lo) を押して設定モードを変えます。

(高Hi) : 1→2→3……9→10→11

(低Lo) : 11→10→9……3→2→1

- 設定モードの確認は電池交換ランプの点滅回数で確認できます。  
例えば最初に設定モードに入るとモード1になっているため、ランプが1回点滅し、便座 (高Hi) ボタンを1回押してモード2になると2回点滅します。

3. 設定を完了する

- 便座本体にリモコンを近づけ、(節電) ボタンを押して設定を完了します。  
この時、便座本体から「ピッ」と音が鳴ります。

# 仕様

項目		内容
定格電源		交流100V 50/60Hz
定格消費電力		1,055W(本体1,000W、便座55W)
区分		貯湯式
年間消費電力(2012年基準)		154(215)Kwh/年 ※1
外形寸法		幅400mmX奥行537mmX高さ130mm
給水方式		水道直結式
質量(便座本体のみ)		約3.9Kg
電源コード		長さ1.2m
使用水圧範囲 ※2		0.069MPa～0.735MPa
温水洗浄	おしり洗浄	400～550ml/min
	ビデ洗浄	400～550ml/min
	水勢調節	5段(弱～強)
	ノズル位置調節	7段
	温水タンク	0.25L
	温水温度	切、34℃、37℃、40℃
	安全装置	空運転防止制御(フロート式)、手動復帰型バイメタル、温度ヒューズ
脱臭装置	脱臭剤	触媒脱臭
暖房便座	表面温度	切、30℃、34℃、38℃
	安全装置	温度ヒューズ
リモコン電源		単3形乾電池2本
その他の安全装置		漏電遮断回路(内蔵)、着座センサー(内蔵)

(お願い)本製品は家庭用です。業務用として使用できません。

※1 省エネ法に基づいて、便座サイズや湯沸し方式などの種類別の計算式により、4人家族(男性2人、女性2人)で1日あたり、おしり洗浄4回、ビデ洗浄8回、男性小用4回で使用した場合を基準に算出したものです。

タイマー節電機能は、一般家庭でのタイマー平均使用時間と使用率で算出しております。

( )内は、タイマー節電機能を使用しない場合の年間消費電力量となります。

※2 使用水圧範囲以外では、十分な性能が得られない場合があります。

# アフターサービスについて

## ■ 保証書と保証期間について

- この温水洗浄便座には、無料修理保証書がついています。
- 無料修理保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたします。記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日から2年間です。
- 保証期間中でも有料になることがありますので、ご了承ください。  
(保証書に詳細を記載してありますので、そちらをご覧ください。)
- 保証期間は経過後の修理については、販売店または当社にご相談ください。
- 修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ■ 修理を依頼されるときは

温水洗浄便座が正常に動作しないときは、26ページの「故障かな?と思ったら」をご覧ください。それでも正常に動作しないときはすぐに使用を中止し、必ず電源プラグを抜き止水栓を閉めてから、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。


- ① ご住所、お名前、電話番号
- ② 品番：(例)JCS-851DRN (便ぶた内側に貼ってあるラベルの右上に表示しています。)  
ロット番号：(例)LD00001 (本体右側面に貼ってあるラベルに表示しています。)
- ③ 現象：できるだけ詳しくご説明ください。
- ④ 訪問ご希望日、道順(付近の目印も)

## ■ 転居されるときは

- 転居で、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もってお買い上げの販売店にご相談ください。ご転居先での取扱店を紹介いたします。  
(再設置に要する費用は、保証期間内であっても有料です。)

## ■ 定期点検について(有料)


- 安心して末永く快適にご使用いただくために、定期点検をおすすめします。ご使用開始後5年程度でお買い上げの販売店または当社に定期点検をお申し付けください。

<b>愛情点検</b>		<b>★長年ご使用の温水洗浄便座の点検を!</b>	
	こんな症状はありませんか?	<ul style="list-style-type: none"> <li>•電源コードや電源プラグが異常に熱い。</li> <li>•本体が異常に熱い。</li> <li>•異常なおいがする。</li> <li>•その他の異常・故障がある。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">ご使用中</div>
		➔	故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店又は当社に相談してください。

## ■ 部品の保有期間

- 当社は、この温水洗浄便座の補修用性能部品を製造打切り後、6年保有しています。

修理のご依頼および消耗部品のご注文は下記の「修理受付専用フリーダイヤル」へ

フリーダイヤル  **0120-117-817**  
 受付時間 9:00~18:00 365日

## 製品の長期使用に関する本体表示について

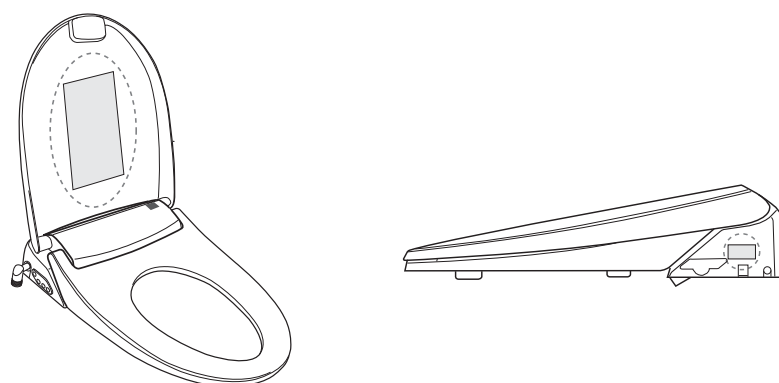
### ■本体への表示内容

経年劣化により事項に至るおそれがあることをお知らせするために、本体に以下の内容の表示をしています。

- 製造年（本体に西暦4桁で表示しています。）
- 注意表記（下記の表記を便ふたの警告表示ラベルに表示しています。）



【想定安全使用期間】10年(一般家庭用に設置された場合)  
想定安全使用期間をこえてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。



### ■想定安全使用期間とは

一般家庭用に設置された温水洗浄便座において、標準的な使用条件の下で、適正な取り扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として、想定される期間です。

無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

※一般家庭用以外(事務所、病院等、不特定多数の方が使用される場所)に設置された場合は、使用条件により、想定安全使用期間よりも早い時期に劣化するおそれがあります。

### ■標準的な使用条件

環境条件	電圧・周波数	AC100V、50/60Hz	機器の定格電圧/周波数による
	温度	20℃	JIS A 4422による
	給水温度・給水圧	15℃ 0.2MPa	JIS A 4422による
付加条件	定格負荷	製品仕様による標準設置状態	JIS A 4422による
想定条件	4人家族(男性2人、女性2人)において、 大便：1回/日・人、小便男性：4回/日・人、 小便女性：4回/日・人の使用条件で、 一回ごとの洗浄便座機能の使用時間を それぞれ15秒間とする		JIS A 4422による
取扱維持管理	取扱説明書に記載された通常の使用方法、お手入れ、点検・修理が行われている。		

### ■経年劣化とは

長期間にわたる使用や設置に伴い生じる劣化をいいます。

# JCS-851DRN 保証書

出張修理

本書は、本書記載内容にて無料修理をさせていただくことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生したときは、お買い上げの販売店に出張修理をご依頼ください。※お買い上げ日・お客様・販売店の欄に記載のない場合は無効になります。必ずご記入ください。

型名： JCS-851DRN

お買い上げ日 平成 年 月 日 保証期間 お買い上げ日より 2年

お客様： 住所  
お名前

販売店： 住所  
お名前

## 無料修理規定(保証規定)

- 取扱説明書・ラベルなどの注意書に沿った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合に、無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合に、お買い求めの取扱い店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居、ご贈答などで本書に記載の取扱い店に修理を依頼できない場合、当社にご相談ください。
- 保証期間内でも、以下の場合は有料修理とさせていただきます。
  - (イ) 使用・維持管理上の誤りおよび不当な修理・改造による故障および損傷。
  - (ロ) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害や異常電圧など、その他の損傷がある場合。
  - (ハ) 消耗品の劣化に伴う故障および損傷。
  - (ニ) 本書の提示がない場合。
  - (ホ) 本書に取付日・お客様のお名前・取扱店の記入のない場合、あるいは字句が書き替えられた場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

修理年月日	損傷と処置	サービス担当者

## ジャニス工業株式会社

本社：〒479-8577 愛知県常滑市唐崎町2丁目88番地 TEL(0569)35-3151 FAX(0569)34-6634